

編集後記

今年は、原爆が落とされて以来71年後にして初めてアメリカの大統領が広島を訪れた記念すべき年となった。また、水俣病公式確認から60年、チェルノブイリ原子力発電所事故から30年、東日本大震災から5年がたち、各地の「負」の遺産が節目を迎えるのを機にこの特集を組んだ。

表紙の写真は、かつてユダヤ人を収容所まで運んだドイツ国営鉄道の貨車。現在はエルサレムのヤド・ヴァシエム（ホロコースト記念館）にあり、エルサレムの森の空中に消えてゆくようにひかれた線路の上にぼつねんとのっている。

ヤド・ヴァシエムはわたしも訪れたことがあるが、もっとも印象に残ったのは、広い敷地内の各所に建立された立派で荘厳なモニュメントや記念館ではなく、美術館に展示されていた1枚の小さな水彩画である。3段に重ねられ、所狭しと並べられた収容所の寝床の様子を描いたものであった。画中に人の姿はなく、銘々の衣類やトランクなどが寝床まわりの狭い空間に置かれ、間仕切りの布もぶらさがっている。外連味なく淡々と写し取られた日常が異様に生々しく、記号でしかない記念碑よりもよほど強烈に心に響いた。日本の大震災直後の避難所のイメージとも重なったからかもしれない。戦後、収容所の屋根裏から発見された一連の絵のうちの1枚だという。画家はアウシュビッツで命を落としたが、その筆が遺した遺産には、人間の尊厳とは何か考えさせる威力がある。（山中由里子）

●表紙:エルサレムのヤド・ヴァシエム(ホロコースト記念館)にある、アウシュビッツ行き貨物列車の屋外展示。撮影・菅瀬晶子

次号の予告

特集

見世物大博覧会

月刊みんなぱく 2016年8月号

第40巻第8号通巻第467号 2016年8月1日発行

編集・発行 人間文化研究機構 **国立民族学博物館**
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話 06-6876-2151

発行人 池谷和信
編集委員 山中由里子(編集長) 河合洋尚 菅瀬晶子
丹羽典生 南真人 吉岡乾

デザイン 宮谷一 長岡綾子
制作・協力 一般財団法人 千里文化財団
印刷 能登印刷株式会社

*本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係に
お願いします。

*本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内

- 大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- 阪急茨木市駅・JR茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅(エキスポシティ前)」 「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- 乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

みんなぱくホームページ

<http://www.minpaku.ac.jp/>

みんなぱくフェイスブック

<http://www.facebook.com/MINPAKU.official/>

みんなぱくツイッター

<http://twitter.com/MINPAKUofficial>